

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [17] 東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前

指定管理者の名称 社会福祉法人東京援護協会 指定期間 H21. 4. 1 ~ H26. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	老人福祉部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕他
(2) 類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム2施設、ケアハウス1施設
(3) 経営状況	(24年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入4,945,158,620円、歳出4,930,316,465円、収支差額14,842,155円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区蔵前2-11-7
(2) 設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(3) 利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者
(4) 開館日・時間	通年、24時間
(5) 規模	延べ床面積 3,937㎡のうち3,363.41㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階：相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室（機械浴、一般）など
(6) 人員体制	32名 内訳…施設長（1）、次長（1）、事務員（1）、相談員（1）、介護職員（常勤17、非常勤7）、看護職員（3）、栄養士（1）

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護（排泄・入浴援助）}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等
(2) 自主事業	空床利用型短期入所生活介護事業

4. 予算決算の推移

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	48,414,000	59,125,846	57,301,950	57,757,830	58,805,465
	利用料金収入	198,931,000	212,048,000	216,086,000	211,669,000	214,622,000
	その他収入	17,694,000	1,476,154	6,795,050	12,630,170	11,061,535
	管理経費	265,039,000	272,650,000	280,183,000	282,057,000	284,489,000
決算	委託料	48,414,000	59,073,800	57,295,735	57,689,865	58,792,865
	利用料金収入	199,614,885	219,556,568	213,083,738	212,917,799	217,175,220
	その他収入	4,792,581	5,097,621	30,978,465	7,909,629	4,823,245
	管理経費	268,359,514	274,859,018	282,560,818	278,363,326	291,830,415
	収支	-15,538,048	8,868,971	18,797,120	153,967	-11,039,085

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度
入所定員	人	50	50	50	50

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(26年度)	22年度	23年度	24年度
利用率	%	98.0	95.7	95.9	96.5
利用者数	人	17,900	17,457	17,555	17,614

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み				
平成24年7月に新たに開始した「空床利用型短期入所生活介護事業」の推進を図ることにより、利用者サービスの向上に努め、利用率の増加につなげることができた。				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.4]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [2] [3] [3] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応 (j) 警備・防犯体制	[2] [3] [2] [3] [2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費削減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	S	看護職員中心の「痰の吸引研修」を実施し、22名の介護職員が「特定行為業務従事者認定証」を取得するなど、サービスの向上に取り組んでいる。浅草消防署の自衛消防コンクールにおいて、優良賞を受賞、施設には災害用自販機を導入した。		
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に行われている。		
(3) 利用者の満足度	A	満足度調査の結果はおおむね良好であり、ターミナルケアへの取組みについても、家族から高い評価を得ている。		
(4) 収入支出	A	予算は概ね適切に執行されている。空床利用型短期入所生活介護事業の開始により、利用率、利用料金収入が増加傾向にある。今後も引き続き、効果的な空床利用を図っていく必要がある。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
妥当		サービス向上への取組みを始めとして概ね適切な事業運営がなされており、利用者及び家族からの満足度も高い。今後も引き続き、医療依存度の高い利用者も受け入れ、効果的な空床利用を図っていく。		
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応				
満足度調査では利用者から概ね高い評価を得ており、サービス向上に向けた様々な取り組みが図られている。今後も引き続きサービスの向上に努めていく。空床利用型短期入所生活介護事業の開始により、利用率、利用料金収入は増加傾向にあるため、引き続き効果的な空床利用を図っていく必要がある。				